

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課題	重点推進 課題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント(有識 者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制 度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
【産学官連携】											
A	A	産学イノベーション加速事業 (産学共創基礎基盤研究、戦 略的イノベーション創出推進) 【競争的資金】	文部科学 省・JST	1,373		一部 革	<p>産学による基礎研究基盤強化や技術開発基 盤強化のための研究開発、革新的な基礎研 究成果を基にした産学による大規模な研究開 発等、特にイノベーションを加速する効果の高 い産学による取り組みを支援し、我が国の科 学技術力と産業競争力を強化する。 イノベーションを加速するために、産学分野の 重要課題ごとに、産学官が協働してそれぞ れの役割・得意分野を活かして研究・開発を行 い、「知」を創造する場(プラットフォーム)を構 築することが必要。また、基礎レベルの技術 シーズを迅速かつ円滑に新技術確立に向け 発展させる必要。</p> <p>(産学共創基礎基盤研究) ○1技術課題あたりの金額:400万円程度 (初年度は半年分)うち間接経費:92百万円程 度(初年度は半年分) ○採択予定技術課題数:2程度(1技術課題あ たり10機関程度の大学等が参加) (戦略的イノベーション創出推進) ○1チームあたりの金額:350万円程度(初 年度は半年分)うち間接経費:80百万円程 度(初年度は半年分) ○採択予定テーマ数:1程度(1研究開発 テーマ当たり5程度のチームを採択)</p>	<p>○本事業の趣旨はよくわかるし、重要でも ある。しかし、本事業において大学がどのよ うな役割をはたすのか、よくわからない。大 学を入れず、大学の研究者に自由に応募 してもらった方がよいのではないか。(白石 隆議員) ○産学連携のどちらが提案か、資金負担 の度合いによって異なるが、産業が提案し たら資金もある程度拠出してもらうべき(青 木玲子議員) ○経産省との関係整理(本庶佑議員) ○外から見ると違いが明確でないので、3 施策を一本化するか1施策に絞るべき(今 榮東洋子議員)</p>	<p><産学共創基礎基盤研究事業に対して> ○PO、PMを有効に利用できるようなして、成 果が出るような仕組みを作って欲しい。 ○チャレンジングな施策であり、実施に對して は、更に工夫が必要である。 ○面白いチャレンジとは思いますが、POなりPMな りの識見・能力によって大いに異なる結果とな る。人材の選定は最重要となる。</p>	<p>○産業界が抱える技術課題の解決に資する基礎研究 について、産学が対話を行いつつ協同体制の下で実 施していくことは、産学連携の新しいかたちをつくる上 でも、科学技術を基盤としたイノベーション創出を促進 する上でも重要である。 ○産業界から提案される、出口を踏まえたニーズの高 い基礎研究が推進されることから、本制度は非常に有 効であり、着実に実施すべきである。 ○成果を得るために、見識・能力のある者によりプロ ジェクトをマネジメントすることが重要であるとともに、 責任体制・連携体制、特に大学の役割について明確に すべきである。 ○人材の交流など広範な連携に展開していくような配 慮も必要である。 (白石隆議員)</p>	<p>原案と同じ (白石隆議員)</p>

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課題	重点推進 課題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント(有識 者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿 名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制 度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
【地域活性化】											
B	B	地域における産学官連携支 援事業	農林水産省	300		地	地域において共同研究の参画機関数を増加 させるため、地域にコーディネーターを配置。 農山漁村に存在する豊富な資源を活用した 新産業の創出を図るためには、異分野との連 携を強化し、技術革新につながる分野横断的 な研究開発を促進することが必要。 22コーディネーターの配置に要する経費 278 【主な内訳】 ・人件費:69 ・調査費:156 ・旅費 :9 ・その他:44 コーディネーターの研修に要する経費 22	○やらないよりはもちろん良いが、規模が 小さすぎるのではないかと。(白石隆議員) ○ビジネスとして長期的に維持するため に、知的財産戦略を充実する必要がある。 知財化即排他ではなく、無償実施が可能で あるが、特に海外への技術譲渡をかかえる と知財化への考慮が必要。(青木玲子議 員)	○非常に重要で優先度の高い事業と考えられ る。是非、進めていただきたい。 ○必要な事業ではあるが、組織のマネジメント 等、工夫が必要である。 ○大いに期待される事業である。コーディネ ーターを専門家として期待どおりに活動していただ くためには、人材育成は重要なポイントであ る。OJTも含めてある程度時間を長く取った研 修カリキュラムが必要。	○地域のイノベーションを引き起こし農林水産業発 の地域活性化を実現するために、地域における農林水産 業の技術的諸課題の解決、研究開発成果の普及・事 業化の促進を図ることは重要である。 ○複数の専門家によるコーディネータユニットを配置す るなど、生産現場から研究開発までを一連で見据えた 施策であり、ビジネスとして効果的・効率的に実施され る必要がある。 ○組織のマネジメントや人材育成のための研修、知的 財産戦略を充実する必要がある。 (白石隆議員)	原案と同じ (白石隆議員)
B	B	地域活性化のための技術開 発支援事業 【競争的資金】	農林水産省	1,955		地	地域の関係者による技術開発から改良・開発 実証試験までの取組を切れ目なく支援するこ とにより、民間企業による事業化や生産現場 における普及に迅速に供することが可能な技 術の開発を推進。 科学技術による地域の活性化を図るため には、実用化段階の研究開発の成果を民間企 業による事業化や生産現場での普及に迅速 に結びつけることが必要。 ①地域発イノベーション創出型 1課題当たりの金額:30 ・うち間接経費:7 採択予定課題数:50 ②地域研究機関連携強化型 1課題当たりの金額:50 ・うち間接経費:13 採択予定課題数:7 ③その他事務経費:105	○普及させるべき技術の対象範囲をできる 限りオープンにして、農水省自前に限定し ないようにする必要がある。(白石隆議員)	○連携協定は画期的である。協定の先の実 施、実証、評価についても、スタート時点からシ ステムづくりをして欲しい。是非、進めて欲しい。 ○他分野(工学、商学)との融合を目指すプロ ジェクトを優先する必要があるのではないかと 思う。これまで見られなかった挑戦的 事業と思う。力強く推進していただきたい。	○農林水産に関する生産現場の課題解決のため、実 用化段階の研究開発の成果を民間企業による事業家 や生産現場での普及に結びつけて行く必要がある。 ○これまでは連携研究が進んでいない異分野を含む 産学官の連携によるネットワークの強化や相互理解の 進展、共通ビジョンの形成などにより、優れた技術開発 や、その成果の確実な事業化・普及が見込める施策で あり、効果的・効率的に実施される必要がある。 ○実行の際には、工学や商学などの他分野との連携 を積極的に考慮していく必要がある。 ○連携後の実証や効果検証の方法について、早期か ら検討を開始しておく必要がある。 (白石隆議員)	原案と同じ (白石隆議員)
B	B	産学官民連携による地域イノ ベーションクラスター創成事 業	文部科学省	1,500		地	環境調和型の社会や健康長寿社会の実現 等、国として重点的に取り組むべき分野にお いて、地域の主体性のもと将来的に有望で、 市場ニーズがある課題について、産学官連携 による技術シーズの育成、出口を見据えた研 究開発、市民参加による実証試験等を実施 し、地域への社会還元を実現する。 地域の知の拠点である大学を中核として、地 域の特色を活かした産学官共同研究を推進す るとともに、研究成果の中堅・中小企業や社会 への展開等を図ることにより、科学技術を活用 した地域活性化を実現する。従来型の公共事 業依存型ではなく、上記のような地域の多様 性・独創性を活用した科学技術駆動型の地域 活性化を図ることにより我が国全体の科学技 術の高度化・多様化を図る必要がある。 ・1地域あたりの金額:200~400百万円 ・採択予定地域数:5地域	○事業参加の条件をよく考える必要がある。 地域振興のために自治体ももっともや りやすい形を考えるべき。(白石隆議員) ○プロジェクト設計(関係者の責任と権利、 成功の便益はどこに)を経験を生かして吟 味。域外の人材、技術も利用。他の事業と の関係(補完性)をはっきりさせる。選別が 大切。(青木玲子議員) ○これまでの関連事業を総括した上で、本 プロジェクトの特性を明確化すべき(相澤益 男議員) ○地域振興が重要な政治課題であること はかわらない。科学技術による地域振興を 図るには、従来プログラムにない新たな視 点を取り入れた制度設計が必要である。 (奥村直樹議員) ○地域カラーを出したクラスター創成に展 開すべきである。(今榮東洋子議員)	○科学技術の進展を通じて、各地域の特色を活かした 地域振興を実現していくことは重要であり、地域の関 係者が一体となって取り組む施策であり、効果的・効 率的に実施される必要がある。 ○主たる牽引役となる自治体や人材にとって、使いや すい制度としていく必要がある。 ○域外の人材や技術も活用するなど、従来プログラム で対応していない新たな点についても配慮していく必 要がある。 (白石隆議員)	原案と同じ (白石隆議員)	

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課題	重点推進 課題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント(有識 者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制 度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
A	A	中小企業等の研究開発力向上および実用化推進のための支援事業	経済産業省	900		地	<p>先端的・独創的な技術を有する中小企業等が、大学・公的研究機関の技術・設備等の資源を活用して行う、実用化に向けた共同研究を支援する。</p> <p>先端的・独創的な技術を持ちながらも、実用化に至ることができない中小企業等を支援するため、高度な知見・技術・設備等を有する大学・公的研究機関等との共同研究を促し、その研究開発力の強化と実用化を推進する取組みについて、国が支援を実施することが必要。</p> <p>1プロジェクトあたりの金額: 13.2(19.9×補助率(2/3)) 採択予定数:68</p>	<p>○事業の趣旨はきわめて明解。コミットメント、効率性も担保されている。(白石隆議員)</p> <p>○中小企業を直接支援することと区別すること。地味な中小企業支援の重要性をもっと強調するべき。(青木玲子議員)</p> <p>○中小企業等の有効な支援となることが期待される(相澤益男議員)</p> <p>○地域間の競争環境をより強くした修正プログラムになっており、政策目標を達成できるよう運営に留意すべきである。(奥村直樹議員)</p> <p>○支援機関を広く公的研究機関、大学、地域財団に拡げたことによって多様性が生じる。(今榮東洋子議員)</p>	—	<p>○中小企業やベンチャー企業における潜在力を活かし、地域ごとに特色ある産業育成が推進されることから、本施策は非常に有効であり、着実に実施すべきである。</p> <p>○地域の実情をよく知る公設試験場等の知見・ノウハウを活用することにより、多様性や地域間の競争を促しながら、効率的に実施していくことが必要である。(白石隆議員)</p>	<p>原案と同じ (白石隆議員)</p>